

# 令和3年度神戸市各会計決算及び関連議案に関する

## 各会派の意見表明

### [自由民主党]

自由民主党神戸市議員団は、令和3年度神戸市各会計決算、及び関連議案25件を下記理由及び要望27件を付して、認定並びに承認致します。

#### 理由

令和3年度決算は、社会保障関係費や投資的経費などが増加した一方で、所得の増加などに伴う個人市民税の増や、「行財政改革方針2025」に基づく取り組みを進めたことにより、10億3,700万円の黒字を確保したこと、また平成23年度決算から11年連続で実質収支の黒字を確保したことは評価致します。

今後は、超高齢・人口減少社会の進展に伴う義務的経費の更なる増加で厳しい市政運営が求められるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響についても注視を続ける必要があります。

しかしながらこのような状況下においても、まちの魅力を高め、若者に選ばれるまち神戸にしていかなければなりません。先日、関西3空港懇談会において同意された神戸空港国際化については長らく我々市民の悲願であったため、国際化および増便のためのハード・ソフト両面における力強い取り組みを進めなければなりません。また、市内事業者およびスタートアップ支援による雇用の創出、回復しつつあるインバウンドを含めた観光施策、切れ目のない子育て施策や移住・定住施策などの人口減少対策にも取り組む必要があります。

以上の施策等が力強く、積極的に推し進められることを期待して、決算を認定致します。

#### 要望事項

1. 神戸空港については、国際化および増便のためのハード・ソフト両面における力強い取り組みを進めること。
2. 神戸空港の国際化を契機として、陸海空の物流拠点としての機能向上および相互連携による集貨・創貨施策の推進にこれまで以上に努めること。
3. 2025年大阪・関西万博および将来を見据え、空飛ぶクルマを含むモビリティの実証実験を目的とした拠点整備を県と連携して行うこと。

4. 海事人材の育成のための、みなとの学習会や神戸・みなと体験に加えて、ガントリークレーンによるコンテナの積み降ろし現場の見学など、最前線の姿を知ってもらう取り組みを検討すること。
5. 高校生への医療費助成および通学費助成を含む、0歳から18歳までの切れ目のない子育て支援の強化、「こうべぐらし」などのネット広報強化により、移住・定住施策をより一層強化すること。
6. 子どもの健やかな心身の成長のため、学校給食での黙食については早期にとりやめ、会話を含むコミュニケーションを取り戻すこと。
7. 神戸文化ホールの移設後の跡地および老朽化した中央図書館や体育館については、武道館を含めた室内体育競技の聖地としての再整備計画を早期に立案すること。
8. 芦屋市立図書館との相互利用について、引き続き実現に向けて努力すること。
9. 神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会については、事前の機運醸成の段階から市民に大会の意義を発信し、市民理解を得ながら大会成功に向けて準備を進めること。
10. 新しいスポーツに対して常に関心を持ち、競技関係者との関係作りを積極的に進めることにより、神戸ならではの先駆的な新しいスポーツ文化を取り入れること。
11. 特定空家空地の解消のため、勧告が広く効果的に活用されるよう、措置の判定基準の見直しのための条例改正等を早期に進めること。
12. 高齢者の社会参加とK O B Eシニア元気ポイントについては、予算額に対して低すぎる還元率を正し、本来の目的を達するための更なる参加促進と受け入れ先の確保に努めること。
13. 認知症神戸モデルについては、市民が安心感を得られる制度であるよう、市民全体への更なるPRや理解を深める取り組みを強化すること。
14. 旧垂水養護学校・旧垂水体育館跡地における中核的医療機関の整備に際し、歯科口腔外科が設置されるよう取り組むこと。
15. 障害者雇用については、市としてグランドデザインを描き、民間企業、福祉事務所、研究機関や外郭団体とともに推し進めていくこと。
16. 鉄道駅舎のバリアフリー化の推進については、引き続きの支援に努めること。
17. 市バス事業については、乗客増に寄与する斬新な施策を、地域団体や企業と共に展開すること。
18. 市営地下鉄事業については、駅利用者の利便性を向上させ付帯事業収入を増加させるため、地下鉄駅改札階等の未利用スペースの有効活用や沿線店舗の支援を行うこと。
19. 地下鉄各駅のトイレのリニューアルについて、早期に実現すること。
20. 大雨時の北神地区の道路通行規制緩和を進めるため、更なる道路防災対策を早急に実施し、迂回路の整備も進めること。

21. 市内に多数現存している老朽化した大型道路標識について、深刻な事故・被害を防ぐためにも、建替更新を加速化させること。
22. 市内商店街の厳しい状況を正確に把握し、道路占有料の思い切った減免により、商店街の支援を行うこと。
23. 市営住宅については、供給過多の実態を鑑みて六甲アイランドなどの好立地における市営住宅の一層の縮小を行い、空家対策も兼ねた住宅政策を推し進めること。
24. 試験運行中の地域コミュニティ交通の本格運行へ向けた積極的支援を行うこと、また、現在運行中の地域コミュニティ交通への一層の支援を行うこと。
25. 救急逼迫や今後の救急需要増加に対応するため、民間病院所有の救急車の弾力的運用も含めた民間救急のあり方を検討し、新たな制度構築を行うこと。
26. 災害時の避難所運営については、防災福祉コミュニティなど地域と連携し、災害初期段階において円滑・確実に行える体制を構築すること。
27. 職員の任用にあたっては、欠格条項の確認を自己申告に依存せず調査を徹底し、地方公務員法第十六条四号に規定される「日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者」を任用しないように国と連携し、立法の趣旨を達成すること。

## **【公明党】**

公明党神戸市会議員団は、令和3年度一般会計決算、特別会計決算及び企業会計決算に対し、下記の理由と要望10件を付し認定します。なお、関連議案については承認します。

### **理由**

令和3年度決算は、法人市民税の増や消費回復による地方消費税交付金の増、また計画に基づく行財政改革を進めた結果、財源対策によることなく一般会計は実質収支10億3,700万円の黒字を計上し、企業会計においても単年度損益合計が昨年度から24億円のプラスとなる30億円の黒字となったことは当局の努力を評価します。

しかし、今後も社会保障関係費のさらなる増加や国際情勢による原油価格・物価高騰、ポストコロナ時代への施策転換に係る財源確保など、財政状況はより一層厳しくなることが予測されています。その中で財源確保に努め、市民生活の安全・安心を守るためにも、まずは収束が見えない新型コロナウイルス感染症対策について、市民に寄り添った対策に引き続き取り組んでいただくことを改めて要望します。

人口減少対策をはじめ、神戸空港の国際化をにらんだ投資や王子公園の再整備など神戸が将来にわたり持続的発展を遂げ、まちの魅力を高めていく当局の取り組みに期待し、以下要望事項を添えて令和3年度決算を認定するとともに関連議案を承認しま

す。

## 要望事項

1. 住民自治充実のため、地域団体活動の維持・活性化に向けた人的、財政的支援を強化すること。
2. 王子公園の新スタジアム整備にあたっては、周辺の住環境を悪化させることのないよう騒音に対する配慮を行うこと。
3. 高齢社会や災害の対応、そして近年のコロナ禍のなかで重要な役割を担う地域の市場商店街について、物価高対策や空き店舗対策などを積極的に進め、インバウンド需要にも対応できる魅力あるものを目指すこと。
4. 2024 年開業の神戸アリーナを核としたウォーターフロントの賑わいづくりを創出するとともに当アリーナを拠点にプロバスケットボールB 1 リーグ進出を目指すストークスを積極的に支援すること。
5. 障がい者相談支援体制の拡充を進めるため、補助制度の見直しなど相談支援専門員不足の解消に努めること。
6. 高齢者の社会参加を促進するため、加齢性難聴者への補聴器購入費補助制度の整備に努めること。
7. 旧港島クリーンセンターの解体にあたっては、事前の住民説明はもとより、ダイオキシンなど有害物質への安全対策及び、粉じんの発生、騒音、振動など環境影響の低減に努めること。
8. 住宅用太陽光パネルが今後大量に使用期限を迎えることに備え、設置事業者に対し、利用者に適正処理を周知するよう強力的に指導するとともに、利用者に破損パネルの扱いについてその安全確保を周知徹底すること。
9. 子育てに優しい神戸市の産後ケア事業のさらなる周知に取り組むこと。
10. 中高一貫教育の実現に向けて、早急に検討を進めること。

## 〔日本維新の会〕

日本維新の会神戸市議員団は、令和3年度神戸市各会計決算及び関連議案について、下記の理由により、要望16件を付して認定・承認いたします。

### 理由

令和3年度神戸市各会計決算では、扶助費や公債費などの義務的経費が増加し厳しい決算内容ではありますが、基礎的財政収支の黒字を確保したことは評価いたします。

しかしながら、コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻などの国際情勢による原油価格や物価高騰など市民生活への負担の増加や、超高齢社会の進展により社会保障関係費

の更なる増加などが見込まれるなど厳しい社会情勢が続いております。また自動車事業会計や高速鉄道事業会計は多額の赤字を計上し、累計資金不足は拡大しました。今後も厳しい経営環境、財政状況が続くことが予想される中、「市民の足」である公共交通としての役割を果たすべく、不退転の決意を持って抜本的な経営改革を行う必要があります。

2025年神戸空港の国際チャーター便の受け入れ、2030年の定期便就航に向け、観光施策だけでなく、ビジネス活用に関しても、国際化による恩恵を最大化できるような施策展開を神戸市全体で早急に取り組んでいかねばなりません。「withコロナ」の時代を乗り切り、持続的な神戸経済の成長を目指すための更なる行財政改革を推し進めることを期待し、令和3年度神戸市各会計決算を認定し関連議案を承認いたします。

## 要望事項

1. 王子公園の再整備については、本質的な議論を行うためにも、全体の事業費や大学誘致による収入などを早急に公表すること。また経済的観点だけではなく地域全体や近隣地域への貢献を市民により分かりやすく丁寧を示していくこと。
2. 新産業の育成・集積については、500Global と連携した起業家育成オンラインプログラムや、アンカー神戸との役割分担を明確にしながらイノベーションの創出、企業誘致の推進を図ること。また IT・デジタルコンテンツなど、より特色のある産業の誘致を強化すること。
3. ICT活用やDXの推進による業務の効率化、行政サービスの向上を図ると共に、深刻化・複雑化するサイバーセキュリティの確保を国、民間事業者との連携を強化しながら徹底すること。
4. 大阪・関西万博の経済波及効果を最大限に取り込むために、市内事業者への受注機会の確保をはじめ、世界から注目を集めるイベント誘致や、空飛ぶクルマの離発着場の設置、神戸と夢洲を結ぶ海上ルート誘致など神戸経済の活性化に繋がる取り組みを推進すること。
5. 公設公営の施設管理や大型再整備については、政策的・投資的事業効果を適切に見極めると共に、民間資金・活力を最大限に活用しながら、最小の経費で最大の効果を得られるよう鋭意取り組むこと。
6. 外郭団体に関しては、民間で行い得る事業は民間で行い、団体のミッションを明確にし、評価・検証することにより役目を終えた団体に関しては速やかに整理統合、民間移譲を行うこと。
7. 第7波における大規模な感染拡大を踏まえ、限りある医療資源を有効活用し、重症化リスクの高い高齢者等の命を守る対策が急務であることから、オンライン診療、ファストドクター等を含め往診医師を確保すると共に、第8波に備えた医療提供体制を構築すること。
8. 家庭の経済状況による教育格差の是正を図り、子育て世帯の負担軽減を図る学習支援事業については各局連携の上、更なる拡充、環境整備を進めていくこと。

9. 神戸空港の国際線就航の実現に向け、必要な空港基本施設、ターミナル整備、災害対策等を着実に進めていくと共に、国際チャーター便利用者のニーズ把握や、それに基づく受入体制の構築など、早急に誘致の取り組みを進めていくこと。
10. 神戸空港の国際化や国内線増便に向け、教育旅行や企業インセンティブツアー、MICE誘致の推進や市内企業の海外展開など、ビジネスでの空港利用促進を官民連携により強化し、確実に神戸経済の成長につなげていくこと。
11. 神戸空港の国際化に向け、バスやポートライナーの輸送力強化、連絡橋の拡幅などのアクセス改善を着実に進めると共に、来訪者を魅了するようなウォーターフロントへの海上航路の検討を進めること。
12. 高速鉄道事業、自動車事業は経費節減等これまでの経営改善と共に、収入増に向け、単なる輸送手段ではなく、乗車が目的となるような事業を行うなど、柔軟な発想を持ち、不退転の決意を持って抜本的な経営改革に取り組むこと。
13. 小中学校のインターネット教育については、ネットいじめや有害サイトへのアクセス等、実際にトラブルになる可能性の高い内容を精査し、教育委員会が基本方針を示した上、全校での予防策を講じること。
14. 中学校給食全員喫食制については、北部学校給食センター候補地の変更を受け、民間デリバリー方式、親子方式との適切な組み合わせにより、全校で温かい給食が提供できる体制を再構築すること。また給食時間が短い課題については、食育の観点からも全員喫食制への移行を待たず、早急に改善を図ること。
15. 不登校児童生徒については、必要な情報提供や助言、ICT等を通じた学習の機会、家庭等への訪問など、それぞれの環境に応じた支援策の充実を図ること。
16. 弾道ミサイルの飛来など日本への武力攻撃事態等への対処として、緊急一時避難施設の確保・充実を図ると共に、全国瞬時警報システム（Jアラート）が発動した際の取るべき行動について、市民への周知徹底を図ること。

## 【日本共産党】

令和3年度神戸市各会計決算のうち、決算第1号、決算第2号、決算第4号、決算第8号から決算第11号、決算第13号から決算第18号の合計13議案に関しては認定できません。

また、決算関連議案のうち第44号議案、第45号議案の2議案に関しては承認できません。

決算第3号、決算第5号から決算第7号、決算第12号、決算第19号の合計6議案については認定いたします。

また、決算関連議案のうち第43号議案、第46号議案から第48号議案の合計4議案については承認いたします。

反対の理由を申し上げます。

## 理由

第1の理由は、長引くコロナ禍と物価高騰から市民の命と暮らしを守る責任を果たしていないからです。

神戸市は、新型コロナウイルス感染症対策において、重症者等以外の療養者への健康観察を原則中止しました。また、医師・保健師の増員、PCR検査体制の強化に背を向けています。さらに、アベノミクスの「異次元の金融緩和」による異常な円安に起因する物価高騰で深刻な状況となっている市民生活や事業者への独自支援を拒み続けています。

第2の理由は、住民福祉の増進という役割を投げ捨て、社会保障の拡充や子育て・教育の負担軽減の願いに背を向けているからです。

神戸市は、国民健康保険料を値上げし、介護保険料負担軽減の願いに背を向けています。

さらに、市民生活の困窮を顧みず、滞納整理と称して、過度の取り立て、差し押さえを制度化し強行しています。また、他都市に例のない住民税超過課税も継続させています。

一方で、市民の切実な願いである子どもの医療費の無料化、少人数学級の前倒し実施や、自校調理による中学校給食実現、学校給食の無償化については背を向けています。

第3の理由は、公共の施設を統廃合し、公務労働を低賃金と非正規・民間委託に置き換え、公的責任を後退させているからです。

「行財政改革方針 2025」に基づき、低賃金非正規の任期付職員や民間委託を進め、さらに学校・水道・区役所などの職員を削減し、市民福祉・サービスの切り捨てがおこなわれています。

また、「神戸市公共施設等総合管理計画」に基づき、王子公園における市民の施設の廃止・縮小、小・中学校のプールや給食室の廃止、市営住宅の削減など、公共施設を削減しています。

第4の理由は、市民の願いよりも、安倍・菅・岸田政権の方針の押し付けを優先し、投機的な大型開発を強行しているからです。

都心・三宮、ウォーターフロント、駅前の大型開発に偏重する一方で、郊外を切り捨て、神戸のまち壊しを進めています。また、大阪湾岸道路西伸事業、国際コンテナ戦略港湾などコロナ以前の大型開発も強行しています。

さらに、神戸空港の“国際化”をバラ色に描き、市長も約束していた神戸空港への「市税は一切投入しない」との市会決議を反故にし、一般財源を投入し、数百億円の事業規模で、さらなる過大で投機的な開発を拡大しようとしています。

王子公園再整備にみられるように、市民の願いからではなく、政府の骨太方針など、歴代自公政権の方針の押し付けを優先することは本末転倒です。

第5の理由は、気候危機打開やジェンダー平等の実現に積極的に取り組む姿勢が無く、統一協会による政治の歪みの持ち込みにも毅然と対決していないからです。

脱炭素社会を掲げながら、気候危機に逆行する神戸製鋼の石炭火力発電所の停止を求めようとしません。

ジェンダー平等を正面から掲げることもせず、働く女性の待遇改善、他の政令都市でも進められているパートナーシップ制度導入にも背を向けています。

また、市長も「反社会的な活動をしている団体」と認定している統一協会から寄付金を受け取り感謝状を発行したことへの反省もなく、政治の歪みの持ち込みに対決していません。

最後に、地方自治体の本旨は住民福祉の増進です。

神戸市は国の言いなりではなく、国の悪政の防波堤の役割を果たすことが求められています。市場原理に委ねて、公的な役割を大きく後退させる新自由主義的な政策の推進では、神戸の市民の福祉の向上も、持続的な発展もありません。

以上、決算を認定できない理由を述べ、日本共産党神戸市会議員団の意見表明といたします。

## **[立憲民主党]**

立憲民主党神戸市会議員団は、令和3年度各会計決算及び、関連議案を下記の要望を付して認定、承認いたします。

### **理由**

令和3年度神戸市各会計決算においては、コロナ禍からの景気回復により実質収支10億円超の黒字を確保しました。

そのような中、コロナ禍による乗車人員減により、自動車事業会計では資金不足比率19.6%となり、引き続き厳しい経営状況に置かれています。市営交通存続に向けては、原油価格・物価高騰もあり、新たな財政措置を講じるよう国へ求めていくことが重要です。

また、水道事業会計については、令和2年度からの水道事業緊急経営改革の中で、財源対策として組織再編に伴う土地・建物等資産の売却・貸付方針が示されていましたが、全く手を付けられていません。建物は引き続き利用するとされ、様々な業務見直しにあたっては、事業運営の根幹に関わる業務であっても、職員の意見・提案に耳を傾けることなく一方的に見直しを進め、職員の削減と人件費の削減に狂奔しています。結果として、職員のモチベーションは下がり、水道局の事業運営に嫌気がさして退職した職員もいると仄聞しています。

今後は真摯に職員の意見・提案に耳を傾け、水道局職員が一体となって、平時・緊急時を問わず市民に対して給水責任を果たす体制を確立し、事業運営にあたることを強く求めておきます。

最後に、われわれの悲願の実現となった神戸空港国際化により、真に神戸が世界に開

かれたまちとなるよう求めます。引き続き、企業誘致、市内経済の活性化、人口増施策に、総力挙げて取り組むと共に、『人への投資』を着実にを行い、安心して住み続けられる神戸をめざして取り組まれることを期待し、要望事項 17 件を付して、令和 3 年度各会計決算を認定し、関連議案を承認いたします。

## 要望事項

1. 神戸空港の国際化に向けて、交通アクセスの拡充と、ターミナル機能を強化されたい。
2. 「神戸市電」に係る車両や図書類について『神戸歴史遺産』として認定されたい。
3. 女性の多様な働き方や就労を支援するため、保育機能を持つコワーキングスペースを各区に開設されたい。
4. 事業の民間委託に際しては、経済性に偏ることなく、市内経済及び市内企業の育成という観点を踏まえ、適切な価格での委託となるよう留意されたい。
5. 市職員自身のキャリアアップに挑戦する風土の醸成を図り、庁内公募制度の活用促進に取り組まれたい。
6. 新・神戸文化ホールに子どもたちが参加するオーケストラを創る等、子どもたちの活躍できる仕組みを構築されたい。
7. 誰もが安心かつ安全にエスカレーターを利用できるよう、バリアフリーの観点も含め更なる安全な利用を推進されたい。
8. 認知症神戸モデルの検診率向上に努められたい。
9. 済生会兵庫県病院と三田市民病院の再編統合後の新病院は、三次救急医療機関として整備されたい。
10. 保健師の人材育成に努め、必要度の高い母子保健、成老人保健、精神保健、感染症等の分野で充分活用されたい。
11. 学童保育事業に係る補助金拡充により、学童保育指導員へのさらなる処遇改善に努められたい。
12. 資源回収ステーションを全市に設置されたい。
13. 夜型観光コンテンツの充実と、神戸夜市の常設に取り組まれたい。
14. 茅葺民家・農村歌舞伎舞台の利活用を拡大し、インバウンド観光需要に応えられたい。
15. 駅前駐輪場に屋根を設置されたい。
16. 公道上給水管修繕工事は、市民への給水責任を果たすため、現行の業務執行体制を堅持されたい。
17. 子どもたちの体力向上に向け『神戸体操』を積極的に活用されたい。

## [つなぐ]

つなぐ神戸市議会議員団は、令和3年度各会計決算および関連議案のうち、決算第1号、決算第4号、決算第9号、決算第10号、決算第18号、以上5件の決算については、後ほど述べる理由により認定できません。

また、その他14件の決算については、おおむね適切に執行されているため認定し、さらに第43号議案から第48号議案の6議案については、承認します。

認定に反対する主な理由は次の通りです。

### 理由

1. 今後の財政収支見通しで2027年度には440億円もの収支不足累積額が見込まれ、さらに、今後数年間、三宮再整備事業や大阪湾岸道路西伸部などで公債費が大きく増加し、財政を圧迫することが予想される中、三宮再整備事業見直しや計画の先送りなどを行わず、長期的視点に立った財政収支管理見通しが示されていないため。
2. 昨年出された王子公園再整備基本方針（素案）に対し、大学誘致などで多くの疑問や反対のパブリックコメントが寄せられ、さらに、市民との意見交換会を踏まえ出された修正素案でも、公園という市民の共有財産の一部を、大学誘致のために民間へ渡す案になっているため。
3. 「行財政改革方針2025」の一環として、区役所窓口民間委託問題で、多くの課題が明らかになっている中、北神区役所、兵庫区役所において市民課や保険年金医療課業務委託を実施し、さらに全区に広げようとしているため。また、水道料金関係業務の民間委託や集約などで職員の負担増や市民サービスの低下を招いたため。
4. 国民健康保険事業において、一般会計からの法定外繰入を全く行わず、社会保険との格差を是正して払いやすい保険料にしようとしなかったため。
5. 年金引き下げなどで高齢者の暮らしが厳しくなる中、第8期介護保険事業計画期間の65歳以上の第1号介護保険料を引き上げたため。

## [共創・国民民主]

共創・国民民主神戸市議会議員団は、令和3年度各会計決算及び関連議案、合計25件を以下の理由により、要望9件を付して認定、承認します。

### 理由

令和3年度の神戸市一般会計では法人市民税の増および行革の取り組みにより、実質収支の黒字を確保したことは高く評価します。一方、新型コロナウイルスの影響により、市民の暮らしに一層の格差が出ているのも事実であります。

決算審議における政策評価などを踏まえ、真に困窮している市民へ届く支援策、より

効果的な経済対策、同時に神戸市独自の人口減少・超高齢化社会に対応した魅力ある施策展開を行い、市民が誇りを持てる社会福祉施策の充実を期待いたします。

### 要望事項

1. 限られた職員数で質の高い市民サービスを提供するためには、DXの推進等による仕事の進め方の見直しと共に、都市間および民間企業間の人材獲得競争に打ち勝つ手立てを確実に講じること。
2. 拠点駅以外の特に市街化調整区域内にある駅周辺のリノベーションについては、規制緩和を含めた特段の配慮を検討し、その実を挙げるよう努めること。
3. 王子公園再整備については、王子動物園のリニューアルを中核にすること。また、パブコメの意見を注視しながら、大学がこの場所に本当にふさわしいか慎重に再検討すること。
4. 多重事故が多発する灘区高羽交差点においては、歩行者の安全対策を継続しながら、スムーズな動線の確保に向けて抜本的な対策を講じること。
5. まちなかでの文化芸術イベントに対して支援する「まちなかアート開催補助金」については、まちの賑わいに大きく寄与することから、工夫をこらしながら継続すること。
6. 新神戸駅前の再整備については、来訪者への配慮と共に、市民にとってもより一層魅力的で使い易い駅前空間となるべく取り組むこと。特に、従前確保されてきた長時間駐車への配慮に努めること。
7. 西神戸ゴルフ場を転活用する新たな産業団地の整備については、特に多くが見込まれる物流機能への配慮から、そのアクセスについて、地元への影響も視野にスムーズなルートの確立に努めること。
8. 第3次市営住宅マネジメント計画の中で再編対象となっている西区栄住宅については、廃止棟、集約棟を早期に示すと共に、余剰地の活用については地元の意向を十分尊重して進めること。併せて、押部谷住宅については、住民の意向を十分に反映した形で再編計画の策定に努めること。
9. 教員不足問題については、質の高い教員の確保を前提に抜本的な対策を講じること。

### 【国民民主党・友愛】

国民民主党・友愛神戸市議員団は、令和3年度神戸市各会計決算及び関連議案 25件を以下 12 件の要望を付して認定・承認します。

### 理由

令和3年度の一般会計決算は、義務的経費が増加した一方で、法人市民税の増や地方消費税交付金の増、さらには「行財政改革方針 2025」に基づく取組を着実に進めたこ

となどから、財源対策によることなく、実質収支の黒字を確保したことは評価します。

今後は、ポストコロナを見据えた施策を強化すると同時に、神戸市が抱えている様々な課題を克服して、将来にわたって持続性のあるまちこうべに向けて取り組んでいくことに期待して、神戸市各会計決算及び関連議案を認定・承認します。

## **要望事項**

1. 須磨海岸の防波堤など需要の高い安全な釣り場は、釣り事業者等と協議会を立ち上げ、釣り人や事業者が守るべきルールを定めた上、実現に向け他都市の防波堤等の多目的使用を参考に取り組みたい。
2. 市内精神科病院の实地指導について、形式的ではない構造的な分析も含めた实地指導となるよう取り組みたい。
3. 発達障害相談の予約から診断までの期間の短縮に向けて、目標をもって取り組みたい。
4. 垂水体育館については、供用開始後1年を目途に、利用者からのアンケート調査を実施し、改善に向けて取り組みたい。
5. 新庁舎が次々オープンし、職員にとって働きやすいハード面の改善と共に全職員が自分の仕事にやりがいを感じ、互いに助け合い、チームとして課題に取り組める風通しの良い、明るい職場環境づくりに注力されたい。
6. ポータルサイト「スマートこうべ」の利用者が、メリットを享受できるようなコンテンツや特典を設けるなど利用者目線で、改良に取り組みたい。
7. 多井畑西地区については、地権者の声も聞きながら里山保全とマッチした新たな活用策も検討されたい。
8. 交通事業の経営改善対策として、営業外収益を増やすべくホテル誘致など関連事業にも注力されたい。
9. 神戸空港の国際化が決定する中、今後の国際会議開催の需要を見据えて、国際会議場等の整備計画を早急に進められたい。
10. 日本人船員のなり手不足解消に向けて、中高生を対象にした教育・啓発に取り組みられたい。
11. 若年・子育て世帯への住み替え支援をより一層拡充されたい。
12. 子どもが学校でも家庭でも読書の時間を楽しみ、本に触れる機会を増やす取り組みを進められたい。

## **〔無所属（平野（章）委員）〕**

平野章三は、令和3年度神戸市各会計決算19件及び関連議案6件については、いずれもおおむね適正と認め、認定及び承認いたします。

## 〔無所属（松本（し）委員）〕

令和3年度神戸市各会計決算19件については、下記の理由及び要望8件を付して認定いたします。なお、関連議案6件については承認いたします。

### 理由

令和3年度の本市の一般会計決算は、社会保障関係経費が増加する中で、法人市民税の増や地方消費税交付金の増に加え、「行財政改革方針2025」の取組みを着実に進めたことなどから、実質収支10億3,700万円を確保しました。公営企業会計においても、30億円の黒字計上となりました。一方で、コロナ禍での不安定な国際情勢の中、物価高騰など先行き不透明な時代となり、台風などの自然災害も想定され、今後も予断を許さない状況となって参ります。

今後とも人口減少・少子超高齢化社会でのグローバルな都市間競争に対応できる都市として、神戸空港の国際化推進と着実な行財政改革の推進に期待し、決算については認定し関連議案については承認いたします。

### 要望事項

1. 令和6年度に再開される「須磨海づり公園」については、「神戸港将来構想」において、須磨海岸エリアを滞在型リゾートエリアと位置づけており、魅力的な施設として利活用する為、JR須磨駅からの遊歩道を延伸整備されるなど関連部局と共に検討され須磨海岸エリアの活性化に取り組まれない。
2. 阪神国際コンテナ戦略港湾については、コロナ禍と共に極東アジアでの不安定な国際情勢の中、神戸港関連事業者への支援施策の拡大を図り、集貨・創貨・競争力強化に一層努力されたい。
3. ウォーターフロントの水域活用については、都心の賑わいを先導するマリーナ構想エリアであり、スーパーヨット等が係留出来るマリーナや水上レストランなど陸域・水域と連携した魅力的な事業とするため、官民協力の下での、魅力的なリゾートエリアとされたい。
4. 神戸市中央卸売市場の再整備に於ける西側敷地の冷蔵庫移転については、今後、運営事業者との協議を深め、グローバル時代での市場間競争に対応できる整備事業とされたい。
5. 部活動の外部指導員の人材確保については、令和5年度に実施予定とされる休日部活動の地域移行の課題は、外部指導員の確保であるため、スポーツ協会や大学、各スポーツ団体へのアンケート調査を実施し、部活動の指導可能な潜在人材を掘り起こしされるよう努められたい。
6. 青少年へのスポーツの普及振興や競技力向上については、少子化時代の中で、民間のスポーツ関係者は苦慮されており、全国平均を下回る体力の向上や競技力向上を図るためにも一層の施設使用料の減免拡大を図られたい。

7. 保育所・幼稚園等の通園バスの安全対策については、重要な視点は児童の命を守る事であり、安全管理体制の徹底、安全装置を導入するための支援、再発防止の緊急対策を県と協力し至急実施されたい。
8. 少子化対策・子育て支援として、国の幼児教育や保育の無償化を推進する一方で、現在無償化されていない0歳児から2歳児の課税世帯にも、神戸市独自の支援策として更なる減免を図り、国に対して無償化に向けた要望活動に引き続き取り組まれない。

## **[無所属（上原委員）]**

令和3年度神戸市各会計決算及び関連議案合計 25 件を下記の理由及び要望 11 件を付して、認定並びに承認いたします。

### **理由**

令和3年度決算は、「行財政改革方針 2025」に基づく取組みを着実に進めたことから、10 億 3,700 万円の黒字を確保することができました。ただ人口減少、少子超高齢社会が進む中、長引く新型コロナ感染拡大による働き方や暮らし方の価値観が変化しており、ウィズコロナ、ポスト・コロナ時代を見据えた政策課題解決に向けて、スピード感をもって取り組む必要があります。コロナや台風など天候の影響に加え、借入金の返済開始、燃料費や材料費をはじめとする物価高騰により、その影響を受ける市内事業者はコロナ禍で最も過酷な経営状況となっていることから以下要望します。

### **要望事項**

1. 新型コロナウイルスの影響で困窮する市内事業者の声を聴く機会を拡充し、資金調達や雇用確保など、的確な支援に直結する一歩踏み込んだ有効な施策を実施すること。また、兵庫県信用保証協会には市内事業者の事業継続を支援するよう強く働きかけること。
2. 委託・指定管理・入札等の市内事業者選定を促進し、さらなる経済の市内循環に努めること。また、なれあい発注を撲滅し、十分な成果が上げられなかった委託先は次回減点するなど、新規事業者も応募、参入しやすい公募制度・広報に努めること。
3. 事業のネーミング・キャッチフレーズは、専門人材を育成・登用するなどし、利用者目線で分かりやすいものに早急に改善すること。また広報は、飲食店ならグルメサイト、理美容店ならビューティーサイトの協力を得る等、最適な媒体で費用対効果を最大にした認知度向上に努めること。
4. 三宮駅周辺での客引き・勧誘行為及びそれに伴う公道に立つ行為も含めて、通行人への迷惑防止と景観の観点から、撲滅に向けて県の条例に則り厳格に取締りを行

- うこと。
5. ウォーターフロントの夜間景観形成、須磨海岸を含めたフォトジェニックスポットの設置等、魅力向上により観光客に神戸が選ばれ、周遊して貰える様に努めること。
  6. いじめや虐待、DVを防ぎ、必ず助けられる様に努めること。また、子ども達のストレスに寄り添い、発散できる場を創出する様に努めること。
  7. 校則見直しは、「子どもの人権」を前提に、子ども達に自分で考え行動する「生きる力」を育むための教育のもと、安全な学校生活の為に必要最低限のルールを制定するという観点で早期改善すること。その際、地域の方々からの意見に左右されない毅然とした方針を示すこと。また、教員・子ども達への良質な人権教育を進めること。
  8. 中学校給食の全員喫食に先立ち、早期に美味しく・温かく提供できる学校が多くなる様、最大限取り組むこと。
  9. 夏休み等長期休暇をはじめとする「宿題」の出し方について、書き写しなどの作業に終わるようなものは止めて、個々の習熟度に合わせたものや、自分で宿題を決めて取り組めるようにするなど、教育委員会は早期に見直し指針を示し、改善に努めること。
  10. 市バス事業の収支改善は、さらなる人件費削減に努め、利用者の不便に繋がる減便に依らない効率化に努めること。地域の実情に応じた規模の交通手段への転換を既得権に囚われず進めるとともに、需要に応じた最終便延長などをデータに基づく客観的観点から、早期実現を講じること。
  11. 三宮クロススクエアの整備に向け、新神戸トンネルやその出入口で渋滞や滞留が起きないように十分な措置・対応をとること。

## **〔無所属（村上委員）〕**

令和3年度神戸市各会計決算及び関連議案に対し、下記の理由及び要望事項3件を付して認定並びに承認致します。

### **理由**

令和3年度神戸市各会計決算では、一部会計では新型コロナウイルス感染症に関連する歳入の減少など影響が見られるものの、一般会計においては義務的経費が増加した一方で、コロナ禍からの景気回復による増収、さらには「行財政改革方針2025」に基づく取り組みを着実に進めたことなどにより、財源対策によることなく実質収支の黒字を確保しつつ、各会計が概ね本市の課題に対応した着実な施策展開を実施された点を評価しております。

以上の理由から、令和3年度神戸市各会計決算及び関連議案を認定並びに承認致し

ます。

### **要望事項**

1. 計画策定業務の負担軽減のため、国への働きかけを継続するとともに、庁内で問題意識を共有し、今後も改善すべき計画をさらに国に対して提案されたい。
2. クリーンセンターの発電後の排熱について、熱交換器を用いた観光農園への活用など、カーボンニュートラルを推進する観点から、さらに活用する余地がないかを検討されたい。
3. 拠点公園の整備に際しては、遊具や設備、公園の在り方自体がもたらす政策効果も考慮し、街のコンセプトや市の施策方針との整合性を踏まえて、最も重要なターゲットである子どもたちや保護者の意向が十分に反映されるような整備方針の決定プロセスを検討されたい。